

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第87回理事会

平成18年6月

第87回 理事会議事録

1. 開催日時

2006年6月28日（金）18:00-21:00 ルポール庭町

2. 定足数

理事現在総数は11名のうち、出席理事は8名、委任状による出席理事が3名で定足数は満たしている旨報告があった。

〔出席理事〕 村山富市理事長、石原信雄副理事長、大鷹淑子副理事長、
有馬真喜子理事、衛藤藩吉理事、大沼保昭理事、
宮崎勇理事、
和田春樹専務理事

〔委任状出席理事〕 古賀伸明理事、植本真砂子理事、金平輝子理事

〔運営審議会〕 高崎宗司委員長

〔監事〕 入山健之助監事

〔オブザーバー〕 内閣官房 山本文士事務官

外務省アジア大洋州局地域政策課 相川一俊課長
同 丸尾伸一事務官
同 篠川志保事務官

〔事務局〕 峯岸良夫総務部長、岡 檀業務部長、
佐藤榮子事務局員、渡邊千尋事務局員、間伸智子事務局員
高江洲晴子事務局員

3. 開会挨拶

理事長より開会の挨拶があった。

初めて出席された、新任の相川ア地政課長が挨拶した。

4. 理事会

議事署名人の選出

議長に一任となり、議長より有馬理事および宮崎理事が指名された。

(1) 議題審議

議題1 平成17年度事業報告、決算報告及び会計検査報告について

和田事務局長より平成17年度事業報告の説明、峯岸総務部長より
平成17年度決算報告の説明があった。

引き続き入山監事から会計検査報告があった。

全員異議なく承認された。

議題 2 オーラルヒストリープロジェクトについて

公表が了承されているものは記念出版物の1つとして出版したいとの提案があ
った。討論の結果、公開が了承されているものは公開し、10年後の公開を希望す
るものはそのことを含めて保管を依頼することで了承された。

(2) 事務局からの報告

① プロジェクトチーム改組について

下村理事の退職に伴う、新プロジェクトチームは有馬理事、大沼理事、高崎運営審議会委員長、横田運営審議会委員、及び和田専務理事5名が理事長より指名された旨報告があった。

② 事業計画進捗状況

事務局よりそれぞれ説明があった。

○ 尊厳冊子作成

尊厳事業3種を合冊し、印刷製本をする。

○ シンポジウム

日時が11月19日(日)、会場はJICAのホールに決定し、準備を進めている。

○ 日韓フォーラム

8月17日から23日に韓国済州島にて実施する。

○ 韓国出張報告

被害者訪問を実施したが、沈ハルモニ問題については、調査できなかったとの報告があった。

③ インドネシアの事業について

南スラウェシ州元従軍慰安婦基金から州内の元慰安婦1696人に償い事業を実施してほしいとの手紙が届いたが、インドネシア政府とのMOUにより、基金としては対応できないとの回答を出したことが報告された。

④ 中国慰安婦問題について

和田専務理事より、6月29日の中国慰安婦裁判担当の弁護士大森典子氏らの訪問、中国人被害者に対する基金事業実施の可能性について質問されたことに関して説明があり、さらに現実にそのような要請がなされた場合に、認定を裁判所の判決による被害事実認定をもって代えることが可能かについて若干の検討が紹介された。討論の末に、最高裁の判決を見守り、検討することが必要になれば更に検討することになった。

⑤ アフターケアについて

に引き受けてもらうことを交渉してきたが、断念せざるを得なくなったことが報告された。

⑥ 拠出金の処理について

目下残余金に基づく事業の可能性について検討していることが報告された。

⑦ 基金事業年間スケジュールについて

計画された事業が多く、予算が少ないので、検討しながら処理して行く予定である。

次回の理事会を9月下旬開催で了承し、閉会した。

議事録が正確なものであることを証するため、下記に署名押印する。

平成18年6月28日

議 長 (理事長)

村山富雄

議事録署名人 (理事)

有馬真喜子

同

(理事)

宮崎 勇